

大会宣言

私たち全国ことばを育む親の会は、昭和39年の創設以来ことばや聞こえに不自由さのある子どもの教育の充実、とりわけ「教室の設置と通級制度の法制化」実現を目指してまいりましたが、年々教室が増設され、平成5年度には私たちの悲願でありました「通級による指導」が制度化されて、通級児童生徒数が飛躍的に増加いたしました。

さらに今年4月より一人一人の教育的ニーズに応じた教育的支援を行う「特別支援教育」の完全実施が始まり、画期的な改革の幕開けの年となりました。

しかし、教室、児童生徒数増に応じた専門教員養成の出遅れ、各都道府県の教室設置率の極端な不均衡、早期発見・早期教育体制の未整備など、今後解決すべき課題も山積みしております。

このたび、第22回全国大会山形大会・山形県親の会結成40周年記念・第25回大会を山形市で開催し、『いっぱい話すっぺ 心・ことば・笑顔』をテーマに掲げ、これらの諸問題解決のために親の会のできることは何かを、また特別支援教育の理念に添った親の会活動のあり方を真剣に討議し合うことは、極めて意義深いことと考えます。

ここに、参集した会員の総意をもって、会員一人ひとりが下記の事項の早期実現のために努力することを決意し、関係ご当局に要望いたします。

記

- 一、保護者・親の立場でよりよい特別支援教育の実現をめざす活動をさらに推進します。
- 一、特別な教育的支援を要する子どもの早期発見・早期教育のさらなる充実をめざす活動を展開します。
- 一、担当の先生方の専門性を高める研修の場の拡充と、働きやすい環境作りをめざします。
- 一、親同士が学びあい、家庭における養育の充実につとめ、担当の先生と共に障がいの克服、改善につとめます。
- 一、子どもにかかわるすべての人たちの協働で地域の子育て支援活動に参加します。

平成19年8月4日

第22回全国ことばを育む親の会全国大会・山形大会
山形県親の会結成40周年記念・第25回大会